

宇都宮民報

発行
日本共産党
宇都宮市委員会
弥生1丁目7-11
旭コーポ1階
634-8722



いのちを守る対策を急げ! 熱中症対策に関する緊急申し入れを行う

日本共産党市議員団は、7月31日(火)、佐藤栄一長に対し、続いている猛暑への緊急対策を申し入れました。

熱中症による救急搬送
昨年同時期の3倍に迫る
61人(H29) ↓175人(H30)
(7月29日時点)

申し入れは、別添の7項目。1〜4については、石岡和男保健福祉部長に、5〜7については水越久夫教育委員長に行い、懇談しました。この申し入れには、党宇都宮市委員会の天谷みえ子医療福祉対策委員長と、原ちづるくらし子育て委員長が同席しました。

低所得・生保世帯へ
エアコン購入補助を
懇談で、荒川つねお議員は、「生保世帯や低所得層などでエアコン購入に対する支援策を早急に検討し対応すべき。」と求めまし

た。天谷みえ子さんも「熱中症で重篤になるのは特に高齢者が多い。注意喚起はホームページだけでは不足で、あらゆる機会をとらえて行い、お年寄りには、直接訪問する機会を多く作り、エアコン使用を促してほしい。」と述べました。石岡保健福祉部長は、「熱中症避難所」として公共施設86施設に加え、民間のコンビニや店舗にも協力を呼びかけ、熱中症避難所の協力店」としてブルーステッカーの張りだしを広げている。できる限りのことはやっていく。」と述べました。

避難所指定の 体育館へのエアコン 設置を!

教育委員長との申し入れ懇談の中で福田くみ子議員は、「教室へのエアコン設置は先見性があった。小中学校は、避難所にも指定されているので、体育館へのエアコンの設置は、必要ではないか。」と検討を求

めました。また、原ちづるさんは、「夏休みで学童保育の児童は、プールの使用もできず、1日中狭い施設の中で過ごすしています。ぜひ図書室や一般教室等の開放を」と求めました。水越久夫教育長は、「しっかりと検討します。」と述べました。



石岡保健福祉部長と懇談をする市議員団

別添 熱中症対策に関する 緊急申し入れ

- 1 市民に対しあらゆる機会を通じて、暑さ対策、熱中症対策への呼びかけを強化すること。
- 2 公共施設において熱中症防止シェルターとして、市民が気軽に休息できる場所を設置すること。
- 3 高齢者や障がいのある方々への見守りと安否確認に取り組むこと。
- 4 生活保護世帯においては、この7月からエアコンの設置費用が認められたが、これまでエアコンの無いアパートに生活してこられた方には、適用されません。そこで、生活保護受給者や、低所得者に対するエアコン設置及び電気代への支援策を講ずること。
- 5 小中学校の体育館へのエアコン設置を早急に検討すること。
- 6 夏休み中の部活動等の取り組みについて、暑さ指数を参考にするなど、練習や試合の中止や延期についての基準をつくり徹底すること。
- 7 夏休み中の学童保育や子どもの家における、暑さ対策を徹底すること。また、緊急避難策として図書室や一部教室の開放なども含め柔軟に対応すること。

危険な石堀・ブロック塀 撤去に補助金創設!

臨時議会・
補正予算が計上

民報933号では、宇都宮市の資料などをもとに、ブロック塀等の安全点検のチェックポイントなどをお知らせしたところですが、ブロック塀の撤去費補助制度は、8月10日の臨時議会で可決、創設が決まる見通しです。いち早くその概要をお知らせいたします。

*補助対象

一般通行用の道路に面する既存の塀で、道路面から80センチメートルを超えるものか、擁壁の上にあつて、擁壁との高さの合計が80センチメートルを超え、かつブロック塀等の高さが60センチメートル

を超えるもの。

*補助額

見積もり額と1平米あたり1万円(標準単価)のいずれか少ない方の2分の1。限度額は10万円
対象のうちスクールゾーン内は補助率が4分の3。上限額15万円。

市有施設の危険なブロック塀など年度内に撤去方針!

市は6月18日の大阪北部地震以来、市有施設の安全点検を実施。その結果、学校公園など市有施設32か所について緊急的な対応が必要と判断し、補正予算約2億3千万円が計上されます。

年金者組合宇都宮支部 第28回定期大会

荒川つねお議員が連帯あいさつ



あいさつする荒川議員。その左が原さん

全日本年金者組合栃木県本部宇都宮支部(齋藤清委員長)は、7月31日、市内で第28回定期大会を開催しました。

大会では、年金者を取りまく内外の情勢、安倍政権のもとでの年金者の暮らしと社会保障、組織強化などについて討論。

全国の仲間と共に「憲法を守り、平和を守り、年金裁判に勝利すること」との大会宣言を行いました。

新役員は委員長に齋藤清氏(再)、書記長に田村悟朗氏(再)を選出しました。

日本共産党宇都宮市議員団団長の荒川つねお市議が連帯挨拶、天谷みえ子原ちづる両市議予定候補も連帯と激励にかけつけました。

CV22 オスプレイ

配備反対態度表明を



6団体代表と右から福田、荒川、天谷、原各氏

安破棄栃木県実行委員会、同平和委員会、平和民主革新の日本をめざす県民の会等六団体の代表らは7月26日、米軍のCV22オスプレイの横田基地(東京都)配備反対などを求め、佐藤栄一宇都宮市長あてに申し入れ書を提出しました。

手塚英和副市長が対応しました。

日本共産党宇都宮市議員団の荒川つねお 福田くみ子両市議、天谷みえ子原ちづる両市議予定候補が同席しました。

県内では24日、同機と見られる機体2機が、県南地域

から県北に向かつて飛行したとの目撃情報が党事務所にも相次ぎ、下野新聞25日付)は、大田原市上空を飛ぶオスプレイの写真を報道。住民の不安が一気に高まっています。

横田基地には現在、CV225機が一時駐留しています。この夏の正式配備を経て、将来的には、10機に増やす予定です。

オスプレイは奇襲部隊や救出部隊の輸送などにあたるもので、MV22オスプレイよりも事故率が高いと指摘されています。

市平和委員会の石川輝雄会長は、前記のオスプレイ写真をパネルで示し「日本の防衛に係らないオスプレイの配備は必要ない。市は配備反対の態度表明をしてほしい」と訴えました。

手塚副市長は「市民の安全を守るため、情報をつかみ、伝えていきたい」と応じました。

申し入れ全文は宇都宮市議員団ホームページ)

陸自

中央即応連隊の山地機動訓練中止求める

日本共産党栃木県委員会と県議団、宇都宮市議員団、佐野市議員団は連名で7月30日、陸上自衛隊宇都宮駐屯地の中央即応連隊が佐野市で計画する駐屯地外での初の大規模訓練(山地機動訓練)8月2日(3日)の中止を求め、要請書を石田広記連隊長あてに提出しました。

要請書は、武器を携行し、市民生活を脅かす駐屯地外での訓練の拡大強化は容認できないと主張、訓練の中止などを求めています。

要請には、共産等の小池一徳県書記長野村せつ子県議

荒川つねお宇都宮市議員、義明 岡村恵子両佐野市議、原ちづる党宇都宮市くらし子育て委員長が参加しました。



佐藤淳同駐屯地広報室長に申し入れる左2番目から原・荒川氏ら

日本共産党宇都宮市議員団
定例無料

市政・法律なんでも相談会

雇用問題・多重債務・生活保護・年金・国保・住宅
道路・交通安全・その他なんでも...

日時 9月8日(土) 午後2~4時
10月13日(土)

会場 宇都宮市総合コミュニティセンター

連絡先 日中 TEL632-2622 (党市議員団室)

土・日・夜間 TEL634-8722 (党委員会)

相談ご希望の方はできる限り事前に連絡をお願いします。

秘密厳守します。弁護士が協力します。

8月の相談会はお休みします。